

Local Area News

第28回ぐんま情報化フォーラム (一社)群馬県情報サービス産業協会

10月23日、前橋市・前橋テルサ「テルサホール」において、第28回ぐんま情報化フォーラムを開催した。本フォーラムは、県内情報サービス産業の振興を図り、地域経済、社会の発展に寄与することを目的に毎年開催されている。

今回は、「加速するデジタル化の潮流とそれを支えるIT技術」をテーマに講演が行われた。

講師は、NECソリューションイノベーター株式会社執行役員常務・中村慎二氏。



開会挨拶する松下会長

開会にあたり、松下弘明会長が挨拶。続いて、群馬県、前橋市より来賓挨拶が行われ、その後、講演となった。



最新のIT技術について講演

講演では、デジタル技術を活用したサービスが次々と生まれ、仕事・暮らし・健康・レジャーなど様々な場面でサポートしている現状を踏まえ、デジタル化を支える

代表的な技術であるAI、IoT、クラウドなどについて、また、それを受けての技術者育成について、最新動向と事例紹介を交えながら説明が行われた。

令和元年度官公需確保対策 地方推進協議会

10月28日、前橋市・群馬県庁昭和庁舎において、令和元年度官公需確保対策地方推進協議会が開催された。

国では、中小企業者の受注機会の増大を図ることを目的として「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」に基づき、毎年度「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」を作成している。例年、この基本方針の内容を広く周知することを目的に、都道府県ごとに国、地方公共団体である県や市町村などの発注機関の担当者、事業協同組合や事業者等の受注者を対象に協議会を開催している。

今年度は、9月10日に「令和元年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」が閣議決定されて

おり、それを受けて各都道府県で本協議会が開催されている。

その中で今回は、関東経済産業局より「令和元年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針等について」、国土交通省より「公共工事の施工時期等の平準化に向けた取組について」、厚生労働省より「働き方改革関連法の概要について」、総務省より「地方公共団体の調達における中小企業者の受注機会の確保について」、群馬県より「群馬県の『中小企業者に対する発注拡大の方針』について」説明が行われた。また、本会からも「群馬県中小企業団体中央会の官公需関連事業等について」説明を行った。



国や県の担当者より官公需に関する様々な説明が行われた

LAW

国産「い草」の畳をPR

桐生畳工事(協)

11月2日～4日の3日間、桐生市中心街で開催された、ものづくりのまち桐生の「今」を見せる「桐生ファッションウィーク」(10月26日～11月4日開催)に出展した。

組合では、品質の良い国産の「い草」の畳をPRすることを目的に、ここ数年毎年出展している。小太刀康雄理事長によると、国産の「い草」は、中国などの外国産と比較すると長持ちし、また、十分に成長した「い草」が出荷されているため、品質が非常に高い

という。生産者の顔も見え、輸入の際の防虫剤などにも必要ないため、安心して使用できるとのこと。



畳表の見本を用意し
国産と外国産との違いを説明

出展した3日間で、国産「い草」の畳の良さを多くの来場者にPRした。



手作りのミニ畳なども安価に販売

また、今年も毎年好評を得ている、畳になる前の「い草」を無料

配布。「い草」を見たことがない子供が珍しがるなど、用意した1,700本を超える「い草」が展示終了を待たずになくなるほど好評を博した。

「SDGs(持続可能な開発目標)」を学ぶ 群馬県石油(協)

11月12日、前橋市・群馬県石油会館において、「SDGsとは」カードゲーム『2030SDGs』を通して学ぶ企業経営に資する「SDGs」をテーマに後継者育成支援事業を行った。

講師は、株式会社ミツバ環境ソリューション常務取締役の清水敬祐氏と同社ソリューション部主任の神部安希子氏(両氏とも環境カウンセラー)。

始めに、講師より2015年の国連サミットにおいてSDGsが採択されるに至った歴史的背景について説明。続いて、SDGsの概略について解説が行われた。

次に、一般社団法人イマコクラブが提供するカードゲーム『2030SDGs』のルール説明後、受講者が実際にゲームを体験した。



講師よりSDGsについて解説

受講者が二人一組のチームとなり、設定された目標の達成を目指し、ゲームに取り組んだ。終了後、感想や心境の変化について参加者全員が発表。講習のまとめとして、講師より、なぜ今SDGsが企業に求められるのかなどについて説明し、講習を終了した。



カードゲーム「2030SDGs」を体験